

高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会 第1回 議事要旨

日時：平成24年11月7日（水）15：00～17：00

場所：大手町サンケイプラザ 301、302 会議室

出席：

委員長 藤野 陽三 （東京大学大学院工学系研究科 教授）
委員 太田 秀樹 （中央大学研究開発機構 機構教授）
宮川 豊章 （京都大学大学院工学研究科 教授）
西村 和夫 （首都大学東京都市環境科学研究科 教授）
長尾 哲 （東日本高速道路（株）管理事業本部長）
吉川 良一 （中日本高速道路（株）保全・サービス事業本部長）
牧浦 信一 （西日本高速道路（株）保全サービス事業本部長）
オブザーバー 喜安 和秀 （（独）日本高速道路保有・債務返済機構 企画部長）

■ 議 事

1. 委員会設立趣旨
2. 委員会検討内容とスケジュール
3. 高速道路の現状と課題
4. 構造物の変状と維持管理の現状
5. 「長期保全及び更新の検討」の着目点と必要性

■ 主な意見

- 経年劣化、大型車や凍結防止剤などの影響により、高速道路資産の厳しい現状を認識。
- 経過年の増加による健全性の低下と補修費用の増加の関係は、確保すべき健全性のレベルを明確にし、経済性での比較のみならず安全性、快適性などでの評価も考慮し、技術論で整理すべきで、長期的・計画的なプログラムが必要。
- 資産の健全性を確保することは、次世代に負債を回すのではなく、的確な時期に早期に実施すべき。
- 更新等の言葉の定義の整理が必要。
- 構造物の変状の要因分析は、様々なファクターがあるので、観点を明確にし詳細なデータ分析を行う必要がある。
- 設計基準や施工基準の変遷により顕在化してきた問題もあることから、施工年次と基準の変遷の関係を整理する必要がある。なお、橋梁以外の土工、トンネルについては、場所や基準によって対象を絞れる可能性がある。

以 上